

第 3 期

武豊町まち・ひと・しごと創生

総合戦略

令和 8 年度～令和 12 年度

目次

第1章	はじめに	1
1.	背景・趣旨	1
2.	第3期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間	1
3.	各計画との関係性	1
第2章	本町における人口等の現状	2
第3章	第3期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略	5
	基本目標1 若者や子育て世代に選ばれるまち	6
	基本目標2 産業が持続・発展する活力のあるまち	9
	基本目標3 安心して暮らせる新たな魅力と活力を創出するまち	12
第4章	計画の推進体制と効果検証の仕組み	16
	(1) 計画の推進体制	16
	(2) 計画の推進と効果検証の仕組み	16

第1章 はじめに

1. 背景・趣旨

国は、人口の減少、少子高齢化、東京圏一極集中といった課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生できるよう「まち・ひと・しごと創生法」〔平成26年（2014年）11月〕を制定し、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」を策定し、これらに基づき施策・事業を推進しています。

また、令和5年（2023年）12月に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023年改訂版）」では、デジタルの力を活用した地方の社会課題解決に取り組み、地方創生を加速化・深化させることや、令和7年（2025年）6月に閣議決定された「地方創生2.0基本構想」においては、今後、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていくこととされています。また、令和12年（2030年）に目標年次を迎える「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を創り出すこととされています。

本町では、国や愛知県の総合戦略及び本町の総合計画とも連携させながら、人口減少が進む中であっても、全ての町民が、安全・安心に暮らし続けられる持続可能な社会を目指すため、「第3期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第3期総合戦略」という。）を策定します。

2. 第3期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間

令和8（2026）年度～令和12（2030）年度の5年間とします。

	R 2 2020	R 3 2021	R 4 2022	R 5 2023	R 6 2024	R 7 2025	R 8 2026	R 9 2027	R 10 2028	R 11 2029	R 12 2030	～	R 16 2034	
国 総合戦略						地方創生 2.0（2025～2034）								
	第 2 期総合戦略					第 3 期総合戦略								
町 総合計画		第 6 次総合計画（2021～2030）												
		前期基本計画					後期基本計画							
町 総合戦略		第 2 期総合戦略					第 3 期総合戦略							

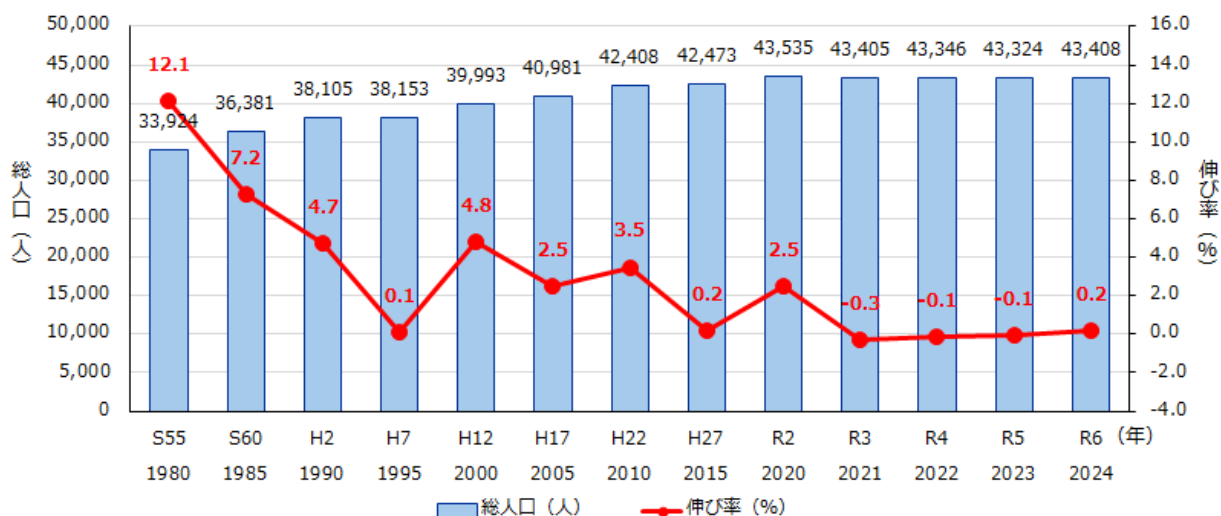
3. 各計画との関連性

第3期総合戦略は、町の最上位計画である第6次武豊町総合計画に掲げる「まちの将来像」や「まちづくりの目標」に基づき、地方創生に資する取組を抽出し、重点化することで、今後5年間で戦略的かつ集中的に取り組むべき施策や事業を示します。

また、国が策定する地方創生2.0基本構想を勘案した内容とします。

第2章 本町における人口等の現状

(1) 総人口の推移

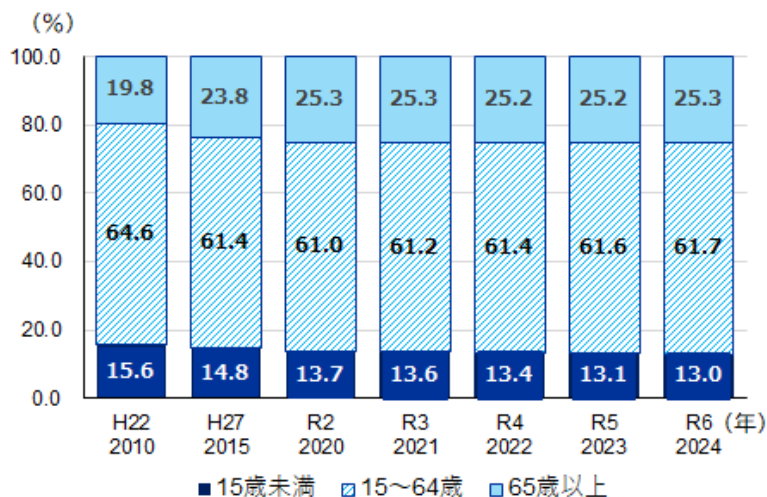


出典：S55～R2 国勢調査 10月1日現在
R3～R6 武豊町住民基本台帳 10月1日現在

総人口は横ばい傾向になっています。

- ・令和2（2020）年の43,535人をピークに人口は横ばい傾向となっています。
- ・令和3（2021）年以降、人口減少が続き、令和6（2024）年には微増したものの、伸び率が低調となっており、あまり回復していない状況にあります。

(2) 年齢3区分別人口割合の推移

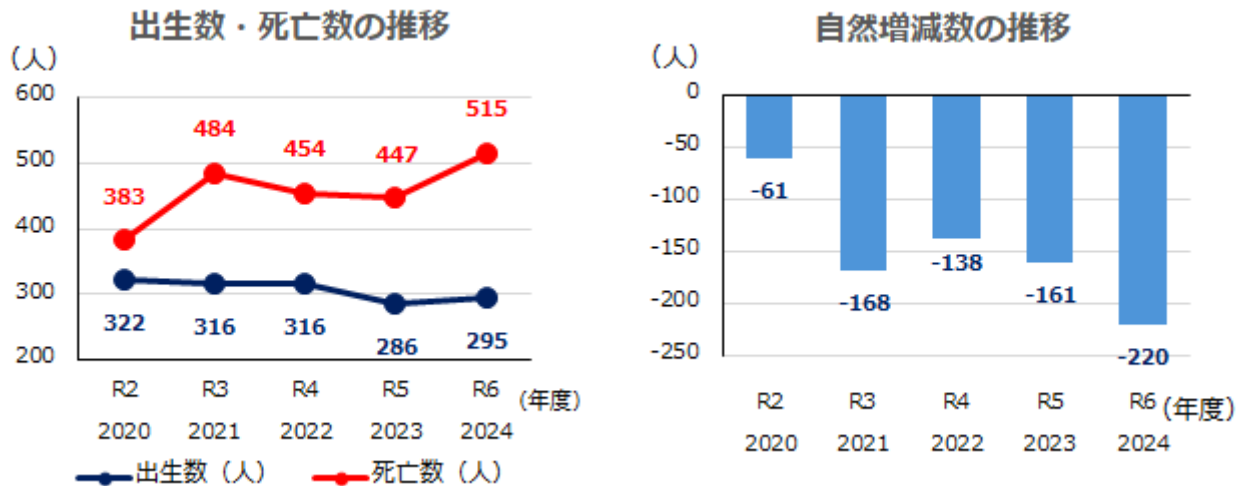


出典：H22～R2 国勢調査 10月1日現在
R3～R6 武豊町住民基本台帳 10月1日現在

少子高齢化が進行しています。

- ・令和2（2020）年以降、65歳以上の高齢者の割合が25%を超え、4人に一人が高齢者となっています。
- ・15歳未満の人口割合も徐々に低下し、令和6（2024）年は13.0%に低下しています。

(3) 自然増減数の推移

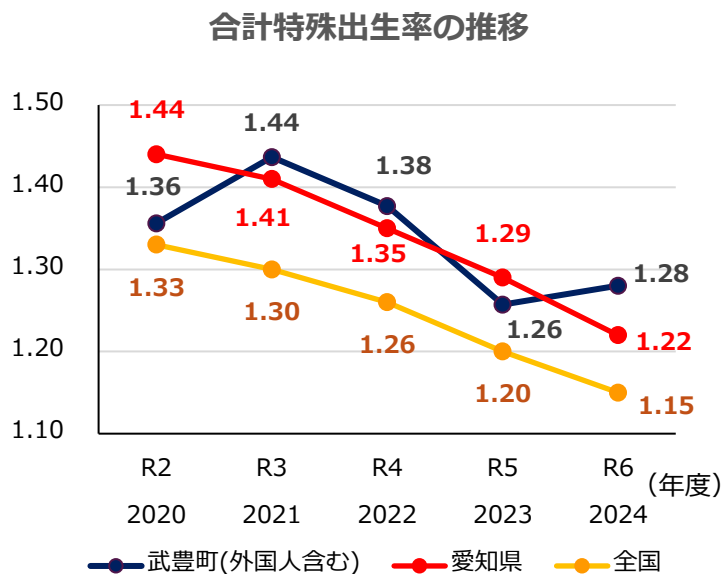


出典：住民基本台帳

死亡数が出生数を上回った状態が続いています。

- ・令和2（2020）年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が進んでおり、令和6（2024）年では220人減少しています。

(4) 合計特殊出生率※の推移



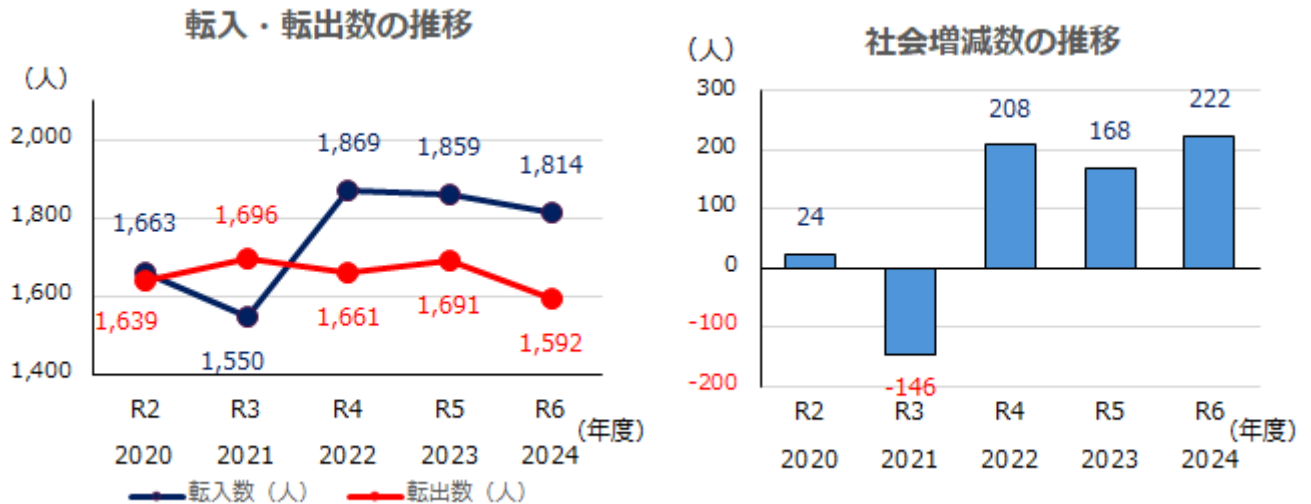
出典：武豊町独自算出（武豊町）
愛知県衛生年報（愛知県）
人口動態統計（全 国）

合計特殊出生率は減少傾向になっています。

- ・合計特殊出生率は全国の平均値を上回っているものの、減少傾向にあります。

※15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯に産むと推定される子どもの数を示したものの。

(5) 転入・転出数、社会増減数の推移



出典：住民基本台帳

転入者数は増加傾向にあります。

- ・令和3（2021）年は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、転入が減少し146人の社会減（転出超過）でした。
- ・令和4（2022）年以降は転入者数が1,800人を超え、令和6（2024）年では222人の社会増（転入超過）となっています。

(6) 他地域間との転出入の状況

年別転入超過数（上位5地域）

	R 2 (2020)年		R 3 (2021)年		R 4 (2022)年		R 5 (2023)年		R 6 (2024)年		5年間計	
1	半田市	117	半田市	139	半田市	165	半田市	81	半田市	154	半田市	656
2	南知多町	35	南知多町	31	美浜町	58	美浜町	37	南知多町	44	美浜町	159
3	美浜町	18	美浜町	23	南知多町	23	西尾市	19	美浜町	23	南知多町	151
4	豊田市	13	大阪府	14	碧南市	21	南知多町	18	西尾市	20	西尾市	59
5	安城市	11	岡山県	10	西尾市	13	安城市	18	安城市	20	安城市	48

年別転出超過数（上位5地域）

	R 2 (2020)年		R 3 (2021)年		R 4 (2022)年		R 5 (2023)年		R 6 (2024)年		5年間計	
1	名古屋市	35	名古屋市	56	国外	79	名古屋市	51	名古屋市	61	名古屋市	213
2	神奈川県	28	国外	46	東京都	32	知多市	22	大府市	13	国外	123
3	知多市	24	神奈川県	41	神奈川県	22	大阪府	15	東京都	10	東京都	86
4	三重県	21	常滑市	28	大阪府	18	大府市	12	福井県	9	神奈川県	85
5	阿久比町	19	東京都	19	常滑市	18	東京都	12	国外	8	常滑市	51

出典：愛知県人口動向調査（前年10月1日～当年9月30日集計）

半田市、美浜町、南知多町は転入超過で、

名古屋市、国外、東京都は転出超過になっています。

- ・令和2（2020）年から令和6（2024）年までの5年間の転出入状況（「転入数－転出数」の5年計）をみると、半田市（656人）、美浜町（159人）、南知多町（151人）が転入超過となっています。
- ・名古屋市（213人）、国外（123人）、東京都（86人）は転出超過となっています。

第3章 第3期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期総合戦略の実績評価や今後の課題などを踏まえ、第3期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、以下の3つの基本目標と3つの基本的方向を設定します。

基本目標

基本目標1

若者や子育て世代に選ばれるまち

基本目標2

産業が持続・発展する活力あるまち

基本目標3

安心して暮らせる新たな魅力と活力を創出するまち

デジタル技術による地域のDX推進を図り、
住民サービスと生活利便性の向上を目指す

基本的方向

1. 人口減少や少子高齢化が進む中、若者や子育て世代に選ばれ、誰もが安心して住み続けられるように、子育てしやすいまちづくり、女性が活躍できるまちづくり、こどもが夢や希望が持てるまちづくりなどを進め、一人ひとりが幸せを実感できるまちを創出します。
2. 産業が持続的に成長・発展する活力ある地域経済の創出に向け、既存産業の生産性の向上や付加価値の向上を図るとともに、新たな産業の創出、起業促進などを進め、活力のあるまちを創出します。
3. 誰もが生きがいを持って働き、生涯にわたって安心して暮らし続けられるよう、生活サービスの維持・向上を図り、一人ひとりの多様な生き方が尊重される魅力あるまちを創出します。

基本目標 1

若者や子育て世代に選ばれるまち

人口減少や少子高齢化が進む中、こどもを産み育てやすい環境づくりや女性が活躍できるまちづくりを進め、若者や子育て世代が住んでみたい・働いてみたいと選ばれるまちを目指します。

《数値目標（KGI）》

指標名	基準値（R6）	目標値（R12）
出生数	295 人/年	300 人/年
子育てしやすさの満足度（町民意識調査）	33.9%	45.0%
若者世代の社会増	56 人/年 (R2～R6 平均)	60 人/年

《施策の体系》

施策① 若者・子育て世帯に寄り添った結婚・出産・子育て支援の充実

施策② 豊かな心を育むためのこどもの応援

施策③ 若者や子育て世代を意識したタウンプロモーション

施策④ まちへの愛着心の向上によるシビックプライドの醸成



SDGs との関係

本分野に関連する
主なゴール



施策① 若者・子育て世帯に寄り添った結婚・出産・子育て支援の充実

施策方針1

- 若者の結婚、出産、子育てについて安心できるように若者や子育て世代に寄り添った支援を行います。

代表的な事業 ・結婚新生活支援補助事業 ・妊娠8ヶ月サポートコール事業
・産後ケア事業 ・フレッシュパパママ教室事業

施策方針2

- 子育て世帯が安心して子育てと仕事の両立ができるよう、多様なニーズに対応した子育て支援策の充実を図ります。

代表的な事業 ・放課後児童クラブ運営補助事業 ・三世帯同居等促進補助事業

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
結婚新生活支援補助金申請件数	24 件/年	30 件/年
放課後児童クラブ待機者数	15 人	0 人

施策② 豊かな心を育むためのこどもの応援

施策方針1

- こどもが健やかに成長できるように、こどもが安心して遊べる環境づくり、多種多様な体験学習の機会づくり、地域ぐるみでこどもを見守る体制づくりなどを進めます。

代表的な事業 ・コミュニティ・スクール事業 ・公園緑地整備事業
・児童館運営事業

施策方針2

- 虐待やいじめ、不登校、ヤングケアラーなどで悩んでいるこどもへの相談体制の拡充やこどもにとって心地の良い、居場所づくり、学びの環境づくりなどを進めます。

代表的な事業 ・教育支援センター（ステップ）事業 ・ゆめたろう塾運営支援
・こども子育て相談事業

施策方針3

- こどもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境づくりのため、地域クラブ活動事業を推進します。

代表的な事業 ・地域クラブ活動支援事業

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
児童館個人来客者数	33,399 人	48,000 人
幸せな気持ちになることが「よくある」と答えた人の割合（全国学力・学習状況調査）	51.3%(小6) 40.5%(中3)	60.0%(小6) 55.0%(中3)
町内小中学校の児童・生徒の武豊町地域クラブの所属人数	332 人 (R7.8)	540 人

施策③ 若者や子育て世代を意識したタウンプロモーション

施策方針1

- 若者や子育て世代に選ばれるまちになるよう、SNS や広報媒体を積極的に活用し、町内外へ向けてまちの魅力情報を発信し、武豊町の認知度向上を図ります。

代表的な事業 ・住民との協働による SNS を活用した情報発信事業（たけとよ日和）
・タウンプロモーション動画の作成

施策方針2

- 若者に住みたい・住み続けたいと思ってもらえるように移住・定住支援策の充実や、まちの暮らしやすさのアピールなどを行います。

代表的な事業 ・移住、定住の促進に向けた情報発信 ・町公式 LINE による情報発信

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
町公式 SNS の動画年間投稿数	120 件/年	160 件/年
LINE 友達登録者数	9,823 人	13,000 人

施策④ まちへの愛着心の向上によるシビックプライドの醸成

施策方針1

- こどもの頃からまちへの関心・愛着が高まるよう、まちの魅力を再発見できる機会や魅力の発信の充実を図ります。誰もが、気軽に参加できるイベントを充実させ、参加者同士の交流や触れ合いを深めます。

代表的な事業 ・子ども会への加入促進 ・区の加入促進
・ふるさとまつり

施策方針2

- 公園、花壇等における住民や地元企業等の参加によるアダプト・プログラムの推進を図ります。

代表的な事業 ・アダプト・プログラム

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
町に愛着を持っている住民の割合（町民意識調査）	80.9%	85.0%
アダプト・プログラムの件数	12 件	17 件

基本目標 2

産業が持続・発展する活力のあるまち

労働人口が減少する中、地域資源や特産品の価値向上を図るとともに、ICT や AI 等の新技術の活用、さらには公民連携を通じて、地域内での経済循環や交流・関係人口の拡大を図り、地域の産業が持続的に発展する活力あるまちを目指します。

《数値目標（KGI）》

指標名	基準値（R6）	目標値（R12）
製造業の売上（1事業所当たり）	210,622 万円 (R3)	253,000 万円
製造業の従事者数	5,720 人 (R3)	6,000 人
まちの駅「味の蔵たけとよ」の年間購買客数	94,667 人/年	105,000 人/年

《施策の体系》

施策① 地域の文化・歴史・観光資源を活かしたまちの魅力向上

施策② 地域産業の持続・発展と新たな産業の創出

施策③ 地元産品の消費の推進と更なる販路開拓

施策④ 駅周辺及び公共交流拠点におけるまちづくり



SDGs との関係

本分野に関連する
主なゴール



施策① 地域の文化・歴史・観光資源を活かしたまちの魅力向上

施策方針1

- 豆みそ・たまり、みそ蔵のまちなみ、まちの駅「味の蔵たけとよ」、寺社、鉄道の歴史などの多様な資源を活かして誘客を図り、回遊性を高めながら、にぎわいの創出を図ります。

代表的な事業 ・ 散策路の整備及び散策路マップの作成 ・ 味の蔵たけとよの魅力発信
・ 発酵食文化ロゴパンフレット作成

施策方針2

- 民間事業者などと連携しながら、みそ・たまりをはじめとした、文化・歴史、自然環境、農業などを活かしたイベントや体験コンテンツの充実など、地域資源を活用した新たな観光コンテンツを創出します。

代表的な事業 ・ たけとよめし推進事業 ・ 有機農業推進事業補助事業
・ 有機農業推進補助事業

施策方針3

- 魅力的な空間整備、案内表示の充実のほか、デジタル媒体（動画・SNS等）を活用した情報発信により、町外からの訪問・滞在・交流を促進します。

代表的な事業 ・ SNS 情報発信事業 ・ 地域交流センター壁面展示作成

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
まちの駅「味の蔵たけとよ」における、味噌・たまり関連商品の年間販売個数	18,573 個/年	19,200 個/年
たけとよめしの取扱店舗数	24 店舗	29 店舗

施策② 地域産業の持続・発展と新たな産業の創出

施策方針1

- 地域経済をけん引する地域産業の持続・発展に向け、中小企業の設備投資などの経営基盤の強化、経営改善、経営革新などに向けた支援を行います。また、人材不足、物価高騰などの経営課題に対応し、持続可能な雇用確保に繋げながら安定した経営の継続支援を行います。

代表的な事業 ・ 中小企業者等応援補助事業

施策方針2

- 地域の課題解決、新しい価値の創造などにつながる新たな産業の創出に向け、まちの魅力を発信することで新たな企業参入の促進や創業・起業支援を強化します。

代表的な事業 ・ 創業支援補助事業

施策方針3

- 企業の女性活躍支援・働き方改革を通じて、誰もが強みを発揮できる職場環境づくりを促進します。

代表的な事業 ・ 男女共同参画、女性活躍推進に関する啓発事業
・ ママ・ジョブ・あいち運営支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
中小企業者等応援補助金 交付件数	33 件/年	40 件/年
創業支援補助金 交付件数	7 件/年	15 件/年

施策③ 地元産品の消費の推進と更なる販路開拓

施策方針 1

- 地元産品の消費拡大に向け、地元産品の付加価値の向上、地産外商などの新しい販路の開拓など、地元産業界と協力し、地元産業が持続的に成長できるように支援します。

代表的な事業 ・ 中小企業応援補助事業（販路開拓支援事業）
・ 発酵食文化振興事業

施策方針 2

- 地産外商の一環として、ふるさと納税の返礼品の拡充に向け、新たな事業者の開拓、商品開発支援などを進めます。

代表的な事業 ・ 中小企業応援補助事業（ふるさと納税返礼品開発事業）
・ ふるさと納税寄附中間支援事業

施策方針 3

- 学校給食や町内イベントなどとの連携により、地元産品の町内への PR による町内消費の機会を増やし、地域内経済循環を強化します。

代表的な事業 ・ 学校給食、保育園給食での地産地消や食育促進
・ 地元産品のブランド化

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
ふるさと納税年間寄附額	33,832 千円/年	100,000 千円/年
学校給食に採用された地元食材量の割合	18.0%	20.0%

施策④ 駅周辺及び公共交流拠点におけるまちづくり

施策方針 1

- 名鉄知多武豊駅周辺の交通網の再構築、公共機能の移転検討などを進め、魅力的な駅前となるようなまちづくりを進めます。

代表的な事業 ・ 名鉄知多武豊駅西グランドデザイン
・ 知多武豊駅東土地地区画整理事業

施策方針 2

- 名鉄知多武豊駅と JR 武豊駅周辺への店舗の立地誘導や、商業団体や地域と連携した催事等の開催などを促します。また、公共交流拠点を中心とした交流や暮らしの拠点づくりを公民連携で進め、まちの魅力を高めるにぎわいづくりを進めます。

代表的な事業 ・ 公共交流拠点整備事業 ・ 散策路整備事業

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
町の中心部の魅力や活気への満足度（町民意識調査）	14.0%	20.0%
駅周辺の来訪頻度（週 1 日以上）（町民意識調査）	22.7%	25.0%

基本目標 3

安心して暮らせる新たな魅力と活力を創出するまち

人口減少や少子高齢化が進む中でも、買い物、交通、医療、介護などの生活必需サービスを維持・向上できるようデジタル技術等も活用したサービスの充実を図ります。また、生涯にわたって安心して暮らし続けられるよう、住民、地域、企業などの多様な主体が連携しながら新たな魅力と活力を創出するまちを目指します。

《数値目標（KGI）》

指標名	基準値（R6）	目標値（R12）
住環境への満足度（町民意識調査）	50.6%	55.0%
まちづくり活動への参加率（町民意識調査）	42.7%	50.0%
病院や休日診療等の受診しやすさへの満足度（町民意識調査）	33.0%	35.0%

《施策の体系》

施策① 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

施策② 安全・安心なまちづくり

施策③ 環境にやさしいまちづくり

施策④ 将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成

施策⑤ 多様な生き方が認められ、誰もが活躍できるまちづくり



SDGs との関係

本分野に関連する主なゴール



施策① 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

施策方針1

- 住み慣れた地域や家庭において、安心していきいきと暮らし続けられるよう、地域や関係機関等が連携し、必要な医療を受けられる体制づくり、介護予防や地域での見守り・支援の充実を図ります。

代表的な事業 ・シルバーカード事業 ・子ども医療費助成事業
・若年がん患者在宅療養支援事業 ・憩いのサロン事業

施策方針2

- 全世代が交流できる居場所づくりや生涯学習、社会活動への支援を通じた町民の生きがいづくり、健康づくりを進めます。

代表的な事業 ・健康スマイレージ事業 ・スポーツ教室、大会運営事業
・福寿大学、中央公民館教室

施策方針3

- コミュニティバスや接続タクシーなどにより、交通空白地帯の解消を図るとともに、幅広い年齢層の方が利用できるよう、コミュニティバス等の地域公共交通の充実を図ります。

代表的な事業 ・公共交通ネットワーク形成事業 ・移動支援事業

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
憩いのサロン参加者数（ボランティア含む）	6,683 人/年	8,000 人/年
コミュニティバス乗車人数	97,507 人/年	109,000 人/年

施策② 安全・安心なまちづくり

施策方針1

- 災害発生時における被害を最小限にするため、公共施設・住宅等の耐震化、空き家等対策、防災設備・資機材の充実を進めます。また、町民の生命・財産を守るため、緊急情報等配信サービス等を始めとした防災情報を速やかに伝達する手段の普及を進め、町民の防災意識の向上を図ります。

代表的な事業 ・耐震診断、耐震改修費補助事業 ・被災者生活再建支援システムの活用
・同報無線拡声子局デジタル化更新事業 ・緊急情報配信サービス

施策方針2

- 地域の防災力や災害対応力の向上を図るため、日頃から住民や地域コミュニティとの意思疎通を図り、避難訓練等の各種防災対策や避難支援体制の整備に取り組みます。とりわけ、災害時に特に支援が必要となる避難行動要支援者については、地域全体で支える仕組みを構築します。

代表的な事業 ・個別避難計画作成事業 ・家具転倒防止対策事業

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
緊急情報等配信サービス登録件数	16,849 件	17,500 件
個別避難計画作成件数	0 件	150 件

施策③ 環境にやさしいまちづくり

施策方針 1

- ごみの減量化や資源化への意識の浸透を図るため、情報提供や啓発を行うとともに、ごみのポイ捨てや不法投棄の防止に向け、地域ぐるみの清掃活動やパトロール活動を推進します。

代表的な事業 ・ 地域への環境美化活動支援 ・ 資源回収エコステーション運営事業
・ 不法投棄パトロール

施策方針 2

- ゼロカーボン社会の実現に向け、公共施設の省エネを推進するとともに、住民・地域・事業者が環境に配慮した行動を心掛けられるよう、環境学習等啓発・啓蒙活動を強化します。

代表的な事業 ・ 環境学習の実施による環境意識醸成 ・ 緑のカーテンチャレンジ

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R6)	目標値 (R12)
1人あたりの家庭系ごみ(資源除く)の排出量/日	422 g	419 g
リサイクル率	41.4%	43.0%
温室効果ガス(CO ₂)の総排出量	539 千 t-CO ₂ (R4)	415 千 t-CO ₂

施策④ 将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成

施策方針 1

- 若い世代などがまちづくりへの理解を深め、関心を持ってもらえるよう、まちづくり講座の開催や参画できる機会を増やし、地域の中心となってまちづくりに携わる担い手を発掘・育成します。また、SNS等を活用しながらまちづくりの情報発信に努めます。

代表的な事業 ・ 各選挙の投票立会人への町内高校生の参画
・ 住民が参加できる会議等への若い世代や子育て世代の参加促進
・ 提案型協働事業交付金制度

施策方針 2

- 地域が抱える課題解決や住民サービスの向上に対し、住民、NP0・住民団体、大学、企業などの多様な主体とのパートナーシップを構築し、それぞれが持つノウハウやスキルを活かした公民連携によるまちづくりを推進します。

代表的な事業 ・ 協働のまちづくり事業 ・ 企業版ふるさと納税寄附対象事業拡充
・ 公民連携事業の実施

施策方針 3

- スポーツ・文化活動における地域クラブの立ち上げ支援や指導者の募集を行います。

代表的な事業 ・ 地域クラブ活動推進事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R6)	目標値 (R12)
町政・まちづくりに関心がある若い世代の割合 (町民意識調査)	57.6%	65.0%
提案型協働事業の提案件数	3件/年 (R3~R7 平均)	5件/年

施策⑤ 多様な生き方が認められ、誰もが活躍できるまちづくり

施策方針1

- 多様な価値観や生き方を持つ一人ひとりが偏見や固定観念にとらわれず、互いに認め合い、助け合いながら、安心して暮らし続けられる地域共生社会の構築を目指します。また、介護、虐待、生活困窮者などで悩みを抱えている人への相談体制や居場所づくりなど、重層的、包括的な支援体制づくりを進めます。

代表的な事業 ・重層的支援体制整備事業 ・居場所づくり事業

施策方針2

- こどもまんなか社会などの考え方やジェンダー平等、多文化共生などの多様性に対する正しい知識の啓発を図り、他者尊重の意識を育みます。

代表的な事業 ・青少年健全育成事業 ・男女共同参画推進事業
・多文化共生事業 ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

施策方針3

- 住民、地域、企業、行政の連携のもとで、外国人住民との交流の機会を設け、相互理解を深める取組を推進します。

代表的な事業 ・日本語ボランティア ・多文化共生事業

施策方針4

- 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージにあった生涯学習プログラムを提供するため、多様な講座を実施します。また、SNS等を利用した告知や学びの情報提供など、デジタルを活用した周知を進めます。

代表的な事業 ・親子ふれあいひろば ・福寿大学

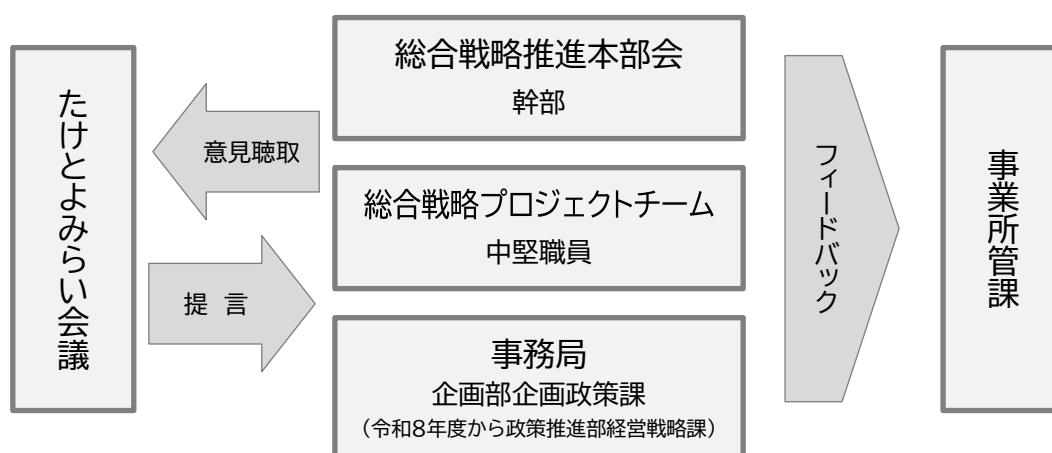
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R12）
異世代や外国人との交流がある住民割合（町民意識調査）	25.0%	50.0%
男女共同参画への満足度（町民意識調査）	21.3%	28.0%
生涯学習講座の参加者数	2,216 人/年	2,350 人/年

第4章 計画の推進体制と効果検証の仕組み

(1) 計画の推進体制

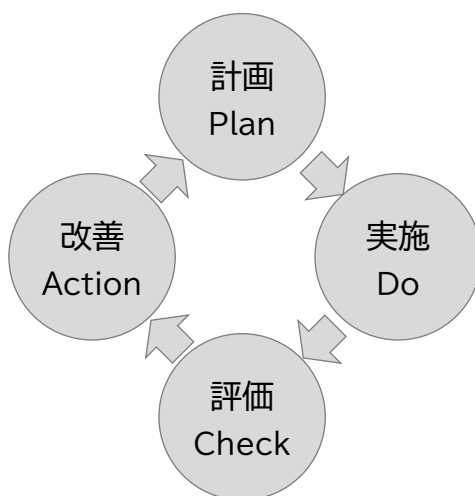
本戦略の推進にあたっては、幹部で構成する総合戦略推進本部会において戦略全体の方向性や方針決定を行うとともに、中堅職員で構成する総合戦略プロジェクトチームにて KPI に基づく分析や事業・取組の推進に向けた意見交換を行います。

また、「産官学金労言士※」の代表者で構成されるたけとよみらい会議の専門的見地による提言を踏まえ、事業所管課へのフィードバックを行います。

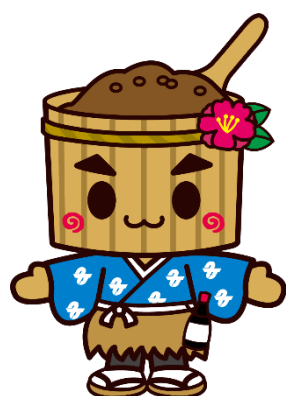


(2) 計画の推進と効果検証の仕組み

本戦略は、総合戦略推進本部会や総合戦略プロジェクトチーム、たけとよみらい会議において KPI 等の進捗状況を踏まえた施策・事業の効果の検証を行い（Check）、必要に応じて本戦略の改定や KPI、事業・取組の軌道修正を行う（Action）一連のプロセスを毎年度実行することで PDCA サイクルを確立し、施策の効果的な推進を図ります。



※産（産業界）、官（官公庁）、学（大学等）、金（金融機関）、労（労働団体）、言（言論界）、士（士業）



武豊町マスコットキャラクター

みそたろう

令和8年3月
武豊町企画部企画政策課
〒470-2392
愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地
TEL：0569-72-1111（代表）
FAX：0569-72-1115